



マリアン

第33号

発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成15年4月5日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
TEL/FAX (075) 701-9149

あの『平和の祈り』をいま…

シスターセリーンに
感謝をこめて



会長 本多ゆり
(2E)

空に真白い木蓮、地一面にみず色のいぬふぐり咲き、大地はふたたび息つき始めました。春は復活節とともに訪れます。厳冬の後、お障りなくおすごしでしょうか。

同窓会は発足来三十九年目を迎え、母校をはじめ多くの方々に支えられながら、キリスト教的愛の精神、ノートルダムスピリットのもとに活動を進めてまいりました。文化プログラム、ボランティア活動も多岐にわたり、参加者も年々増えております。マリアン奨学金、ユニソン会館での講座、大学祭に並行されるホームカミングデー、卒業式への卒年度毎の招待など、母校との絆は一層強いものと

なっております。これは会設立当初より顧問として絶えず大学との架け橋となり、あたたかいご指導をいただきましたシスターセリーンのお力添えによるものと一同心より感謝申し上げます。

昨年、活動の拠点マリアンハウスの設立十周年を記念して大学から聖母マリア像をいただきました。訪れる私たちの祈りに聖母の御取次ぎを思い起させることでしょう。

ご遠方の同窓生のみなさまも学生時代を懐かしむ洛北でのご一泊に、比叡山を望むマリアンハウスをどうぞご利用下さい。

この二年間、様々な個性と力を合わせて同窓会をお預かりして参りました。不行届きな面多々ございましたが、機会を頂きました事を感謝申し上げます。

世界は戦争をはらんだ危機に怯えております。一人ひとりはどうしようもなく小さな存在であっても、置かれた立場で平和の道具となれますよう共に祈りましょう。卒業式で心あわせて歌った聖フランシスコの『平和の祈り』をいま…

祝 御 入 会

本年度は、英語英文学科一九七名、生活文化学科一〇名が三月十三日に御卒業になり、同時に第三十九期の同窓会員となりました。

御入会を心より歓迎いたします。

現在までの卒業生総数は九九五名です。学年委員は次の方々です。

神谷美也子(英) 中数 三鈴(英)
森 恵里(生)

目 次

あの「平和の祈り」をいま…	会長 本多ゆり	1
マリア館と心理臨床センターの出發	学長 梶田 毅一	2
はじめまして……	Sr.ベルナルド岩井	2
全てに感謝をこめて……	Sr.セリーン松本	3
初めてのホームカミングデー……		3
第39回 総会のお知らせ……		4
祝周年……		4
同期生だより……		5
本部役員の改選について……		5
第38回 総会報告……		6
会計報告……		7
支部だより“関東”……		8
支部だより“中部”……		9
同窓生短信……		10・11
留学生の作文……		12
お知らせ案内板・学年委員名簿……		13
マリアンハウスのお知らせ……		14・15
アクティビティーご案内……		16

マリア館と

心理臨床センターの出發



学 長
名誉顧問
梶田 穀一

同窓会の皆さんの大きな御支援をいただき、創立40周年を記念したマリア館が無事に竣工しました。ユニソン会館とソフィア館（図書館棟）との間に、小さな1階部分（ガイスラー・ホールⅡ多目的室、大学院ゼミ室等）が顔を出していますが、地下は広く数多くの部屋があります。この地下部分に、3月末から心理臨床センターも開設されました。

この心理臨床センターは外来の相談と心理療法のセンターで、8人の臨床心理士の方々と4人の客員教授を含む数多くの専門家が担当してくださいます。子どもさんの心理や発達相談の相談を受けて助言したり、カウンセリングや箱庭療法、グループワーク等々をやったりする施設です。有料ですが他の施設より安くなっていますので（特に卒業生の方に対しては）、関心のある方は電話で問い合わせしてみてください。

なおマリア館の竣工に合わせて、これまでの建物にも新たな名称が付けられましたので、御参考までにお知らせいたします。本館→ユニソニア館、新館→テレジア館、別館→ユニソニア館別館、図書館→ソフィア館。

大学院も4月から生涯発達臨床心理学専攻が発足し、昨年4月からの応用英語専攻と合せて2専攻になりました。学部の方も4回生までの全てが4学科体制となり、いよいよ新しい京都ノートルダム女子大学「再創立」の動きも全貌を現しつつある、といったところでは。これからもどうか母校の新しい発展を見守っていただくと同時に、御支援御協力をよろしくお願いいたします。

はじめまして！



顧問
Sr.ベルナルド岩井

この度同窓会顧問を仰せつかり光栄な事と思いつつも困ったなと思いました。普段から同窓会の方々にいろんな面で助けて頂いてお

り、ずいぶん親しみを感じておりますが、キャンパスミニスターとして勤務し始めてまだ4年弱で、まだまだ解らない事が多く、自分に顧問が勤まるかという不安がありました。そこで、会報「マリアン」を改めて隅から隅まで読ませて頂きました。すると会の顧問が勤まるか勤まらないかという事より、こんなに素晴らしい同窓会に関わらせて頂くという事が本当に嬉しくなりました。

私は1961年に誓願をたて、あとずーっと女学院に居りました。この年は沖縄ミッシェンと女子大開学の年で、誓願の仲間達は沖縄、東京、仁川、小学校、女学院、女子大とそれぞれ派遣され別れて行きました。女学院で授業、レッスン（ピアノ）ホームルームその他あらゆる活動に参加しながらノートルダムを随分学んだと思います。この同じ精神を会報の中で、皆様の活動や、言葉のちよつとした表現の中に読み取れて、懐かしくもあり、嬉しくもあり私の不安はすっかり消えて無くなりました。同窓会が何時も大学や学生を支援して下さっている事を心から感謝しております。また、留学生の奨学基金にご寄付下さった方々の懐かしいお名前と、日々目に見えている留学生（本当に頑張っています！）の姿がダブリ、これも大変嬉しくなりました。これからのお付き合いを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

全てに感謝をこめて



Sr. セリン松本

一九六五年、第一期生が卒業し、同窓会が出来た時、初代学長シスターユージニアは私に卒業生の世話をするように言われました。

これが私の同窓会との関わりの始まりで、規約が出来た時には、顧問という役目をいただいたのです。その時以来、歴代の名誉顧問（学長）の意向を受けて三十七年間、同窓会会員の皆様と親しくお付き合いさせていただきました。ノートルダム女子大学は私にとってもう一つの母校のようで、よく「私たち」と言って卒業生に笑われたものです。

この間、私は名ばかりの顧問で、積極的に何かをするわけではなく、お役にたてず申し訳なかったと反省しています。同窓会が何も無いところからここまで発展したのは、歴代の会長をはじめ役員方が多くの時間と労力を提供し、献身的に任務を果たして下さったからです。改めて今までのご苦勞をねぎらい感謝いたします。お蔭で私は色々な行事や活動に参加させていただいて、楽しい思い出を作る

ことが出来ました。更に、有難いことには、経験豊かな卒業生の皆様から多くを学ばせていただきました。

大学が四十周年を祝い再創立という節目を迎えた今、私の退職後は、シスター岩井を顧問として同窓会も新しい歩みを始めて下さるようにと念じています。過去にこだわることなく、未来に向かって刷新をはかり、互いに協力し合ってますます同窓会を充実発展させて行つて下さい。同窓会全会員の皆様の上に神の豊かな祝福とご加護をお祈りし、陰ながら声援を送り続けたいと思っています。

初めてのホームカミングデー

梶田学長の御発案により、大学祭2日目の11月3日に初めてのホームカミングデーが催されました。

校門に同窓生用の受付を設け、ユニソン会館のロビーの一角のホワイエにいつでも喫茶を楽しむながら在学時代の懐かしい話に花を咲かせられるようなコーナーをつくりました。

ロビーでは同窓生による陶芸・絵画・書道・手芸などの作品の展示、役員やボランティアグループによるミニバザーを行いました。学生の案内による学内ツアーは好評でした。発展著しい母校をじかに見て、要所所では先生方の詳しいお話を伺う事が出来ました。昼食は大学から配布の模擬店専用の金券でグラウンドの学生達の味を楽しみ、参加者の皆様

は学生時代に戻ったような気分になられたことでしょう。

初めての試みではありましたが、大学・学生・同窓会が知恵を出し合い、60余名の参加を得て実り多い行事だったのではないでしようか。卒業生の皆様には母校を懐かしみ、母校の「今」を知る絶好の機会になることと思います。次回のご参加を期待しております。



本館（ユージニア館）前にて



ラリグランスクラブによる
ネパールサポート
チャリティーバザール

平成15年度

第39回総会のお知らせ

日時 5月25日(日) 午前11:00(受付10:30)

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」

地下鉄「国際会館」下車 TEL.075-712-1111

会費 7,000円(当日徴収) 子供は1,500円

(ベビーシッターなし)

「今を生きる女性にとってのインターネットとは
～女子大生の今昔、女性と情報化社会～」

講師 吉田智子氏(20E)



今回の懇親会のアトラクションは、20期卒業で、現在京都ノートルダム女子大学人間文化学部助教授でいらっしゃる吉田(旧姓 永山)智子さんをゲストにお迎えいたします。吉田さんは、企業の研究開発業務を経て、インターネット関係技術のテクニカルライターとして独立されたのち、立命館大学大学院にてネットワーク社会論を学ばれ、5年前より京都ノートルダム女子大学にて教鞭をとっていらっしゃるという、素敵な卒業生です。その一方で、妻や母としての顔も持ちださうです。

アトラクションでは、当時と現在の大学の様子の違いや、ご研究テーマの「女性とインターネット」等についてお伺いしたいと考えております。更には、我が母校の将来を語り合う有意義な時間を皆様と分かち合いたいと思っております。

花の女子大生時代にタイムスリップし、皆様と楽しいひと時を過ごせることを楽しみにしております。お友達とお誘いあわせて、是非ご参加ください。ご出席を心よりお待ちしております。

今年度担当 22期生

田中 幸子
山田三起子
堀野 倫子

☆吉田智子プロフィール

旧姓 永山智子。'84年ノートルダム女子大学英語英文科卒業、立石電機(現:オムロン)株式会社に入社。'92年にインターネット関係技術のテクニカルライターとして独立。

その後、日本Linux協会の初代副会長。

'98年4月より、京都ノートルダム女子大学

「情報処理」講師。

2002年4月より 人間文化学部人間文化学科 助教授。

4期生

35周年記念同窓会へのお誘い

お待たせいたしました!!
5年振りの同窓会です。4期生の皆様、是非参加して下さい。楽しい集いにいたしましょう。

日時 10月11日(土) 11:30より

場所 花伝

(烏丸六角東へ200メートル)

後程、ハガキにてご案内を差しあげます。

4期学年委員
金井 陸子
栗栖 和子

祝周年



35周年

30周年

25周年

20周年

15周年

4期

9期

14期

19期

24期

9期生

30周年記念同窓会のお知らせ

日時 9月27日(土) 12:00より

場所 京都ブライTONホテルにて

9期学年委員

安達 都子 倉田 恵子

『三期生 三十五周年記念同窓会』

篠崎加代子
閑田 弘子

平成十四年十一月十七日(日)に卒業三十五周年記念同窓会をホテルプリンス京都にて開催いたしました。当日は快晴、二十九名のなつかしい顔が集合しました。

とにかく「食べて、喋って」の二時間を楽しみました。途中より駆けつけて下さった同期生の米田泰子教

授より大学の近況等のお話を聞き、大変なつかしく、又感慨深いものがありました。

続く二次会も移動の時間も惜しいので同ホテル別室に全員移って、さらに二時間余り。話は尽きないままお開きになりました。



『八期生 卒業三十周年記念同窓会』

五由出千春
米井 慶子

平成十四年十月二十日(日)白沙村荘にて相良憲昭副学長・シスターセリオン松本・シスターマリアン・シスタージョセフがお忙しい中出席して下さい卒業生四十四名が東京・和歌山・岡山・広島など遠くにもかかわらず集合！三十年振りの懐かしさに思わず涙し(?)少し位白髪が増えていても少し位シミやシワが目立ってきても三十年前の女子大生時代に瞬時にタイムスリップしました。

日頃仕事や家事やおけいこ(?)に追われている私達には時間のたつのも忘れさせてくれる素晴らしい一日でした。

次は三十五周年！皆がますます元気でハツラツとしてお会い出来るのを楽しみに名残り惜しい閉会となりました。

聖書に親しむ

忙しいに追われる毎日、ふと立ち止まりあなたの生き方について考えるひとときです。聖書の一節が語りかけるメッセージに耳を傾け、シスターセリオンとともに気軽に話し合いましょ。

第四金曜日 一時三十分～三時
マリアンハウス

○本部役員の改選について

新役員候補者は次のとおりです。

総会において承認されますので、欠席の方は委任状をお願いします。

同窓会本部役員候補

2003/5/26～2005年総会

会長 4 E 大田喜代子(森)

副会長 2 E 本多 ゆり(佐伯)

書記 5 E 杉崎 裕子(森田)

3 E 小亀 峯子(杉本)

10 E 田麿 博子(田麿)

3 E 片桐 比佐(中田)

5 E 阪村 道子(窪田)

2 E 大塚 彩子(服部)

4 C 森田江實子(岸中)

4 E 島田真由美(渡辺)

4 E 渡辺 裕子(水上)

2 E 栗原 英子(上田)

13 E 須田 朗子(橋本)

1 E 藤田 祥子(葛川)

会計監査

副会長 1 E 白井 君子(高田)

書記 6 C 土坂比呂子(栗田)

庶務(名簿) 6 E 濱田美智子(佐藤)

マリアンハウス 2 E 服部 万里(水野)

右記の役員は任期満了にともない今年度をもって退くことになりました。

第38回

総会報告

風薫るさわやかな侯、二〇〇二年五月二十六日、同窓会総会が、京都宝ヶ池プリンスホテルで開催されました。十三名のシスター、先生方をお迎えし、同窓生一七二名が集いました。

最初に帰天なさった方々のご冥福を祈って黙祷を捧げ、会長挨拶、活動報告、会計報告、国際交流基金報告等々行われました。名誉顧問梶田学長、顧問シスター・セリーンにご挨拶をいただきました。



同窓会総会

抄をいただきました。そして手芸ボランティア活動作品、同窓会寄贈品のバザー、大学祭での収益金を、インド・ネパール教育活動支援金、及びネパールイエズス会へ贈呈し、総会を終えました。

その後懇親会

に入り、21期生企画による大谷由里子氏によるトークショーでは、会場いっぱい笑いと拍手で、楽しいひと時を過ごしました。恒例のミキモトのくじ引き、マリアンコーラスと共に合唱を楽しみ、学歌斉唱後盛会のうちに終わりました。役員一同心より感謝申し上げます。



祝周年の方へバラを贈呈

平成十四年度 活動報告

五月

第三十八回総会（京都宝ヶ池プリンスホテル）
総会終了後関東、中部支部委員との合同懇談会
手芸ボランティア活動開始
各種クラス春期開講

※講演「更年期障害あれこれ」
六月

国際交流マリアン奨学基金を留学生に贈呈
※関東にて文化プログラム開催
日文研 須磨離宮（神戸）見学

七月

※講習 ビーズ手芸

九月

※講演「プロの添乗員 その旅の楽しみ方」
日文研 石清水八幡宮見学

十月

各種クラス秋期開講
マリアンハウスオーブンデー

（バザー、喫茶、作品展示）
マリア像祝別式

日文研 三十三間堂、風俗博物館見学

十一月

京都ND女子大学ホームカミングデー参加
中部支部総会出席（二十三日）
日文研 南禅寺見学

※講習 粘土で作るクリスマス飾り
十二月

マリアンハウス設立10周年感謝の集い
ノートルダムクリスマスマス（ユニソン会館）
※講習 しめなわ作り

一月

日文研 狂言鑑賞 新年会
各種クラス冬期開講

二月

マリア館竣工式列席（十九日）
日文研 清水寺見学

三月

4 回生への同窓会新入会員への説明会
第39回大学卒業式列席（十三日）
平成14年度会計決算書作成

※講習 京の和菓子作り
日文研 奈良 法隆寺見学

四月

平成15年度大学入学式列席（二日）
平成15年度予算案作成

会報マリアン第33号発行
総会準備、役員会通算20回

※講習 押し花を使って

注…日文研—日本文化研究会

※…於マリアンハウス

平成13年度会計報告 収支報告

自：平成13年4月1日
至：平成14年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	31,198,751	総会費	600,000	454,240
終身会費	10,320,000	マリアンスカラシップ	1,300,000	1,163,000
預金利息	8,547	マリアン発行費	1,900,000	1,633,620
マリアンスカラシップ返済金	570,500	卒業記念費	600,000	559,280
クラスアクティビティ参加費	133,000	クラスアクティビティ	1,000,000	720,000
名簿代金	7,800	支部活動・援助費	500,000	430,000
		会議費	500,000	310,054
		交際費	300,000	407,756
		通信費	300,000	88,405
		事務費	250,000	186,556
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		名簿発行費(補助分)	50,000	52,500
		小計	9,300,000	8,005,411
		次年度繰越金		34,233,187
合計	42,238,598	合計		42,238,598

左記の通り決算報告申し上げます。

会計 藤田 祥子
阪村 道子

本決算を審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

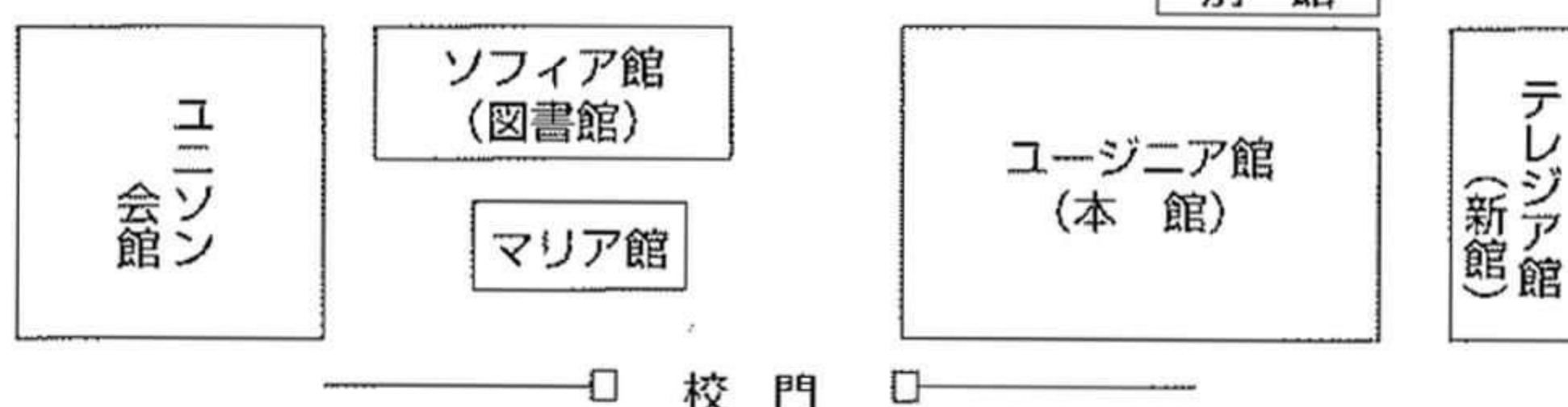
会計監査 小笹 依子

平成14年5月26日

本部より
御協力お願い!
★オーブンデー
(10月23日(木))・
チャリティ・バザー
の為の寄贈品
をお送り下さい
送り先・問合せ先
マリアンハウス
TEL・FAX
075-701-9149
〒606-0015
京都市左京区
岩倉幡枝町628
担当 大塚(2E)
小亀(3E)

創立40周年記念「マリア館」竣工

平成15年2月19日母校に「マリア館」が竣工されました。これに伴ない各建物に名称が付けられました。尚これを記念して同窓会より聖母子像を贈呈いたしました。マリア館の中に故ガイスラー教授の遺徳を偲び「ガイスラーホール」も設置されました。



手芸ボランティアより

岡 和

手芸ボランティアは、毎月第一、第三金曜日に岩倉のマリアンハウスに集まって、バザーのための手芸品を作っています。作品は、マリアンハウスのオープンデー、同窓会総会、ホームカミングデー等で販売し、その収益を同窓会から、インド・ネパールの教育活動支援やその時々必要と思われる先に支援金として送っていただいています。

最近では若い方達がメンバーに加わってくださり、フレッシュなアイデアも生まれて、色々な楽しい作品が出来るとなりました。マリアンハウスに来られない方も、自宅で作られた作品を送ってください。こちらから刺しゅうをお願いしたり、色々な形で協力いただいています。手芸に興味をお持ちの方でお手伝いくださる方は、どうぞお知らせください。お待ちしております。

訃報

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

奥村 宣嘉 元教授 羽野 愛子様

平成15・2・8 帰天

岸 稚佳子様

平成15・2・8 帰天

上田 一子様

平成13・4・26 帰天

平成14・4・2 帰天

(旧姓北澤15C)

中原 珪子様

平成14・5・23 帰天

(旧姓杉本2E)

村中 親子様

平成14・6・26 帰天

(旧姓中崎23E)

平成14・12・1 帰天

支部だより

関東支部
支部
関東支部長 中塚 順子
(13C)



ノートルダムフ
アミリーとしての
誇り

入学試験で落とした消しゴムを試験官のシスターセリーンに拾っていただいた

て、緊張が和らいだことを鮮明に覚えております。

それから三十年、ノートルダムで学んだことを、ずっと誇りに思っていました。

昨年四月より同窓会関東支部の役員をお引き受けて、会計の田中真寿美さん、小笠原由美子さんとともに活動しております。最初はとても不安でしたが、お二人に支えられ、関東支部の活動で何から始めればと迷った時も、一期生の平石様からシスター野本をご紹介いただき、素晴らしいお話しをお聞きする機会を得ることができました。この他にも学年代表の皆様の積極的なサポートをいただき、ノートルダムファミリーの力に感謝しております。これからも、卒業生の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

十一月三十日に、関東支部同窓会を予定しております。

なお、関東支部会費の振込みをお忘れの方は、遅くともかまいませんので、よろしくお願い致します。

☆シスター野本の講演会についての報告
十一月十日に開催し、同窓生二十四名の方

に出席していただきました。
シスターが、「自分に出会う他者に出会う
—気づきへの旅—」というテーマでお話しく
ださいました。まず冒頭で、ジョハリの窓
(アメリカの心理学者ジョセフ・ラクトとハリ



ー・インガムによる用語)から
自分をどれだけ
知っているか
という事を説明
いただきました。

次に、聖書に
書かれているこ
とを私達にも理
解できるように
読み解いてくだ
さいました。

具体的に申し
ますと、他者の
ことはよく見え
るが、自分のこ
とはなかなか見
えないものであ

ること。他者と比べないで自分が本当に大切なものを見つけるべきこと。神に気づき神の愛を感じることで等です。私たちが家族との結びつきにあてはめることによって、これらの教えをよく感じることができました。

最初に、自分で変えられることから始めて、家族との関係をより良い形にしていきたいとお感じになった方が、殆どの方でした。

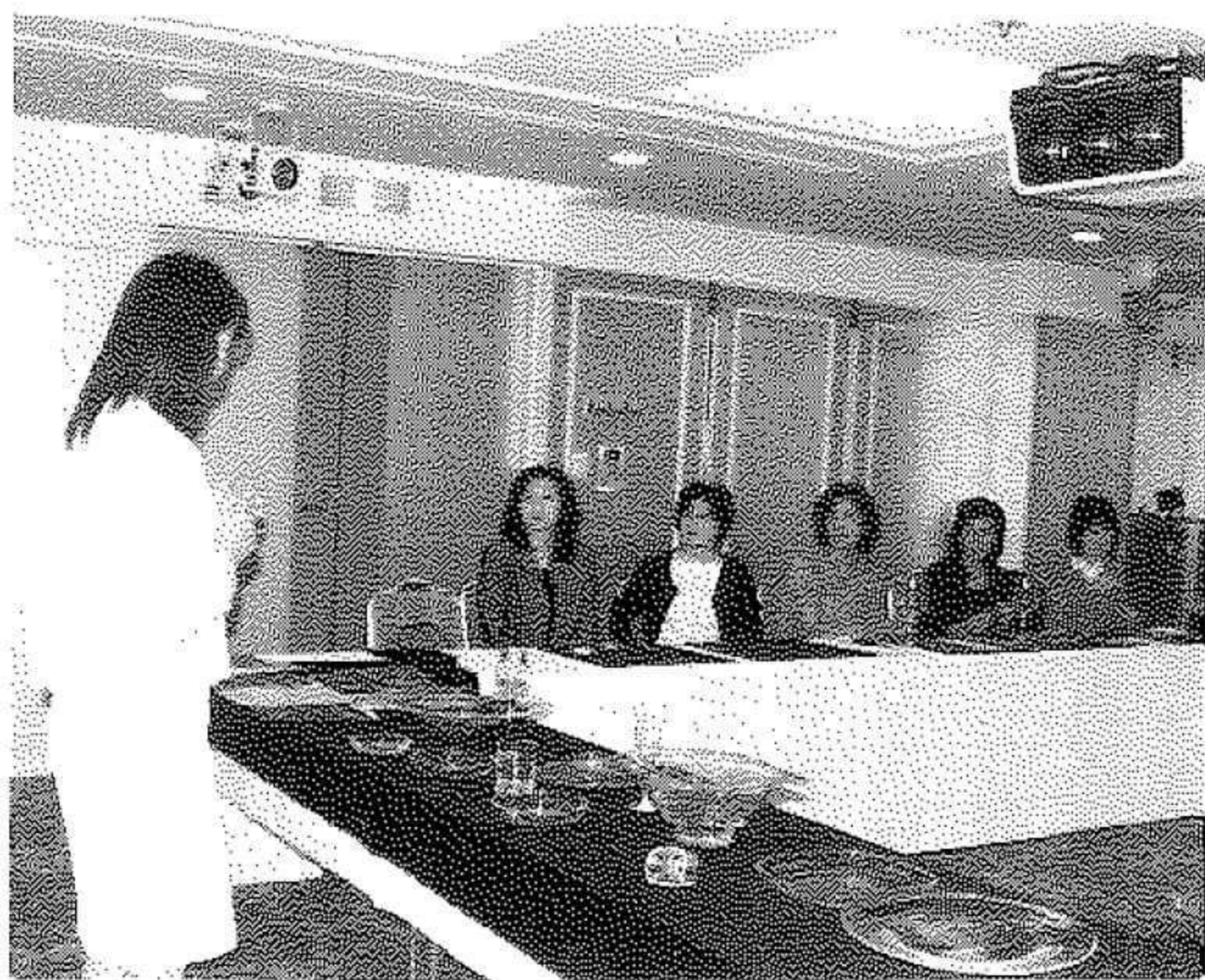
御出席の方々の感想から

○卒業以来の聖書です。学生時代に学んだ時とは違い、静かに深く読む事ができました。シスターのお話は今の自分に身近なものを取り上げて下さり、明日からの自分を考えるよい機会になりました。

○現在、子育て真っ最中(小一、年中)です。今まではとにかく子供のことに中心でしたが、今年より少し自分の時間をもち、有意義にすごしたいと思っています。「何を目標生きているか」を大切にしたいと思っています。聖書をじっくり読んでみようかと思っています。

○シスターの大変親しみやすいお人柄を感じることができて距離が縮まったような気がしました。かたくなな私の心がもつと素直になれたらと思います。

皆様それぞれに、悩みをもっているらしいやうでしたが、何かを得てお帰りになりました。実りある講演会となったことを、シスター野本に感謝いたします。



H14年6月14日に趣味の講座「グラスリッチェン」が開催された

支部長
會計
會計
学年代表委員

29	27	25	23	21	19	17	15	13	11	9	7	5	3	1
齊藤	加藤	朝原	太田	菅原	松山	山口	古宇	中塚	和泉	松平	松浦	真鍋	Suter	平石
明子	萬紀子	睦子	美千代	玲子	浩子	美保子	田久美子	順子	靖子	啓子	俊子	惠美	愛子	真由美

中 部
支 部
部
中部支部長
加藤眞理子
(2E)

十二月二十二日、中部支部総会と十七期生の企画による懇親会を開催しました。

ご出席くださいました学長様からは将来大學が大いに発展をし全国的にその名が知られるように、そしてカトリック大学としていかに学生一人一人が内面的な事を考えていかなければならないかとのお話がありました。又いつも中部支部の活動であります聖書クラスに来て下さっていますシスターセリンからは同窓生としてのかかわり合いを互いに持ち、同窓生のみなさんががんばっているからこそ発展し内容的にも充実してきているというお言葉がありました。本部から本多会長はじめ二名の役員の方々にもご出席いただき、出席者は二十四名でしたが小さいながらも楽しくわきあいあいとしたとてもよい集いになりました。

中部支部が設立されます以前からあります聖書クラスは出席者は少ないのですが、日々雑事に追われる中、シスターにお話を伺って又同窓生同志いろいろ話し合いをする事によって精神的に何かを感じとれればと細々と支部の活動としてがんばっています。この活動はノートルダム精神の「基」になっていることと確信しています。

尚この総会で役員五名が交代いたしました。
新役員は左記の通りです。二年間よろしくお
願いいたします。

支部長	2	E	加藤眞理子
副支部長	3	C	品川 記子
書記	8	C	田中 晶子
会計	15	C	長坂 典子
会計監査	4	E	杉浦木綿子



中部支部総会及び懇親会

九州地区

山泉 恵子
(14E)

六月二十二日にホテルニューオータニ熊本で九州在住者の集いがありました。

初対面だった方々ともおしゃべりに花が咲き楽しいひとときをすごす事ができました。次回は福岡でもお会いしたいものです。

同窓生短信

「クリスタルの煌き」

大谷佳世子(5C)



美術館あたりの街路
樹も日々秋色に染まり、

館内の「ルイ・ルルー
2002リエージュの

秋展」は深まりゆく秋を告げていました。

さりげなく女性数名のご入館。いつもの光景です。ふと、お一人がノートルダム同窓生だと気付く。そして「あらっ！あらっ！」と次々に懐しい同窓生達。その突然の出会いには彼女達によって暖かく演出されていました。思い出すたび心が熱くなります。

私はベルギーのクリスタルガラスの巨匠ルイ・ルルーの作品に魅せられ、日本に紹介してまいりました。その煌きの感動をより多くの人々と共有できればと願い、関西文化学術研究都市に1997年、ルイ・ルルー美術館を開館致しました。ルイ・ルルー氏は制作活動55年を迎え、ますます研ぎ澄まされゆく感性和高度な技術が一体となり素晴らしい作品を制作し続けています。鮮かな気品ある色彩と躍動感あふれる数々の作品の中にあって、

観る人の心を打つ静寂で清楚な作品があります。それは「聖母マリア(MADONE)」です。かつてより多くの偉大な芸術家が制作したマリア像がありますが、ルイ・ルルーのマリア像は限りなく単純化されたフォルムであり、その姿は優しさに満ち、柔らかな情感を伝えるリアリティーがあります。ある時クリスチャンの同窓生が呟きました。「このマリア様を眺めていると自然と涙がこぼれます……」と。

今、私はルイ・ルルーのガラス芸術が国境を越え、世代を越えて継承されゆくことを願ってやみません。微力ながら私は日本とベルギーの文化交流の一環として、この活動に誇りを感じ、また幸せを感じています。ノートルダム時代の学習やいろいろな体験が私の中で大切な指針として息づいています。

「私の異(?)文化体験」

新谷 真由(37E)



筑波大学大学院の博士課程で言語学を専攻しています。毎年夏に語学研修目的でスイス

に滞在しているのですが今向こうでは日本が熱いようです。健康志向ブームなどもあつて街の至る所に日本食屋が軒を連ねていました。

西洋では米・野菜と捉えるのが一般的だそうで、米を利用している寿司は健康食品であるという信念が広く浸透しているようです。しかし寿司バーで大トロやいくらを放張るスイス人を横目に見て、本当に健康食?と思うこともしばしば。日本食がブームであるとはいえまだまだ扱い方をよく理解していないらしく、日本人が見ればイスから滑り落ちてしまいうようなメニューも多々あります。天かす巻きに始まり、豆腐パイ、ゼリー寿司(!!)なども存在するようです。親日家のホストファミリーに青椒肉絲とかき玉汁をつくって白ご飯を炊いてあげたのですが、思いも寄らぬ食べ方をしてくれました。まずスープに手をつけたかと思うと全て平らげ次にご飯に手を伸ばし、また平らげたかと思うと最後にメインディッシュの青椒肉絲を一心に食べ「ちよつと味濃くない?」という感想と共に箸が置かれました。無理ありません、彼らはいわばコース型文化で育ったのでこれにのっとり、箸を進めただけのことです。ご飯は独立した一品ではなく最後まで食べつづけるのだよ:という日本の口内調合型文化の教えは彼らの前では無意味なものでした。とりとめなくなってしまうましたが、遠く離れた地で独自の発展を続ける我が国の文化を暖かい目で見守っていきましよう。

「フードコーディネーター」

稲掛 麻里(34C)



フードコーディネーターってご存知でしょうか。とても幅が広く、一言では言い表せない

のですが、食に関する事全てに関わっています。週のうち三、四日は必ず撮影が入ります。一日に何十点と料理を作り、器に盛り付け撮影をします。撮影されたものは紙面となつて出回ります。約二ヶ月から半年先のものを撮るので、料理の材料や花等を買う時に無くて困る事もあります。撮影のない日は、食材の買い出し(半端な量じゃないです!)や事務作業、撮影準備等をします。掃除や洗濯、料理の試作等一見華やかな世界に思われますが、実際はかなり地味で体力の要る仕事です。料理だけではなく、食器や周りの小物に至るまで、今まで何気なく見ていたもの全てに気を配るようになり、常にアンテナを張り巡らせています。今、私が担当させていただいてる紙面もあり、自らして初めて、盛り付けやコーディネート難しさを実感します。季節感を出す工夫、料理に合う器、クロス、カトラリー。料理はその国の文化や歴史であり、視覚だけでそれらを伝えなければならぬの

です。もちろん、とても美味しそうに!。まだまだ勉強すべき事が山積みで、ますます料理に対する興味が湧いてきます。フードコーディネーターは、主役の料理を引き立てる、正にフードをコーディネートする仕事なのです。少しはお分かりいただけたでしょうか。

「皆様にささえられて」

福本まゆみ(7E)



生来ぐうたら私が、大阪で小さなスタジオを持ちモダンダンスを教えています。

ここ数年、発表会の作品の原作を、同期の町井豊子(旧姓 高岡豊子)さんをお願いしています。彼女は西宮市にお住まいで、現代詩を書いておられます。先ずはじめに希望を言つて、ストーリーを考えてもらい、そのストーリーに従って配役を決め振付をしていくのですが、生徒のレベルや人数などの都合上、電話で連絡を取り合いながら、どんどんアレンジをしてもらっていきます。今回の作品は『永遠のサバンナ―金色の風に吹かれて―』です。色々な動物達が出て来て、現実と空想が入りまじった素敵なお話です。無理なお願いはかり言つても、いつもすばらしい作品を仕上げてもらい……「持つべきものは友達」

を実感しています。

又、生徒達は「反面教師」を心得ているのか私のお尻をたたきながら、懸命に頑張ってくれ、本番では皆心を一つにして、楽しく生き生きと踊ってくれます。

すばらしい友人に助けられ、かわいい生徒達に囲まれ、ぐうたら主婦を大目に見てくれる主人に包まれて、毎日を楽しく過ごしています。神様に心から感謝を捧げつつ!。

平和の祈り

アッシジのフランシスコ

神よ、あなたの平和のために
わたしを役立たせてください。
憎しみのあるところに、愛が、
争いのあるところに、和解が、
分裂のあるところに、一致が、
疑いのあるところに、信頼が、
誤りのあるところに、真理があるように
働かせてください。絶望から希望へ、
悲しみから喜びへ、闇から光へ、
わたしたちを歩ませてください。
神よ、慰められるよりも、慰めることが、
理解されるよりも、理解することが、
愛されるよりも、愛することが
できるようにさせてください。
与えることによって、与えられ、
ゆるすことによって、ゆるされ、
あなたのために命をささげることによって、
永遠のいのちがうけられます。

国際交流マリアン奨学基金

の募金のお礼とお願い

一昨年、大学創立40周年を記念して外国人留学生を支援するための国際交流マリアン奨学基金を設立以来、同窓生の皆様からたくさんのご寄付を頂きまして誠に有難うございます。

平成14年7月3日ユニソン会館同窓会室におきまして、九名の二回生在籍の外国人留学生に教科書代として一人当たり二万円を授与いたしました。その席で留学生一人ひとりから勉学に対する強い意欲や生活の状況を聞き、同窓会として奨学金の必要性をますます深く感じました。

この奨学基金に今後も一人でも多くの同窓生のご理解とご協力をお願いいたします。

一口 三、〇〇〇円（何口でも可）
郵便振替口座番号

〇〇九八〇一五一一五七七二三

以下の方々に御寄付いただきました。（順不同敬省略）

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ■1期生 | 白井 君子 | 藤田 祥子 |
| ■2期生 | 渡邊 福子 | 栗原 英子 |
| | 本多 ゆり | 大塚 彩子 |
| ■3期生 | 高木 里美 | 松本美佐代 |
| | 小亀 峯子 | 片桐 比佐 |
| ■4期生 | 大田喜代子 | |
| ■5期生 | 杉崎 裕子 | 阪村 道子 |
| ■6期生 | 濱田美智子 | 土坂比呂子 |
| ■12期生 | 奥田 典子 | 三井 良子 |

留学生の作文より

金さん

多忙の中でも、私たちのためにわざわざ時間を作ってくださいどうもありがとうございます。大変貴重な奨学金いただいて心から感謝しています。

私はアルバイトしながら勉強しています。国からの仕送りもなく自分で日本での勉強と生活を維持しなければなりません。こんな厳しい条件の中で大学側の留学生のための支援制度はとても助かります。また、大学の先生方もとてもやさしく私は京都ノートルダム女子大学に入学したのをとてもよかったと思っています。

私は京都ノートルダム女子大学同窓会、京都ノートルダム女子大学の配慮を励みに勉強に頑張りたいと思っています。どうもありがとうございました。

林さん

日本と日本語が好きだった私は、京都ノートルダム女子大学で、やさしい先生にめぐまれて、日本の文化、歴史また宗教、芸術、哲学など普段きょうみあることについて、学びながら毎日充実した生活をするようになりました。

知と徳を重んずる京都ノートルダム女子大学で、いっしょけんめい学んで、社会に役に立つ人になりたいです。

「私の変化」

劉さん

日本に来てそろそろ三年に立ちます。この

間に自分の考え方や性格など子供から大人になった気がします。日本に来ていろんなことは自分でやらなければなりません。例えばアルバイト、中国ではお金がない時、両親からもらってほばあたりまえのことでしたが、日本と中国の物価は全然ちがいます。また両親から学費などももらっても本当にすずめの涙で不可能です。そして、自分も20才超えて労働力はちゃんとあります。またお金ももらったらずかしくなります。そして、自分は何があつたら、ほとんど良いことを報告します。悪いことを報告すれば、両親に心配させるだけです。だから、これから二年半の間に自分をもっと頑張りたいと思います。



留学生を囲んで

お知らせ案内板

ホームカミングデー の御案内

平成15年11月3日(祝)は卒業生が
母校に招待されます。
多数の御参加をお待ちしています。
詳細は大学ホームページ
(<http://www.notredame.ac.jp/>)
をご覧ください。

〈お茶〉の学びと人間教育

梶田 穀一著 淡交社

〈お茶〉や〈お華〉、能や狂言、等々とい
った日本の伝統芸能の〈道〉に私が今あら
ためて関心を持つのは、基本的にはそうし
た精神的弛緩を乗り越えて〈深く生きる〉
ことを求めていることです。そして私達が日
頃目にしたり耳にしたりする今の子ども
の現実と、それをもたらししている教育の姿に
ついて、同様の基本的関心を持ちつつ、
根本から考え直してみる必要があるのでは
ないか、と私には思われて仕方ありません。
あとがきより

卒業式への 御招待

来春は3期生が招待
されます。
ミニ同期会でもなさ
ってお楽しみ下さい。
平成16年3月11日(木)

学年委員名簿

平成15年2月現在

会員番号	氏名	旧姓
1 C	安田 光代	酒井
1 E	川勝 宏子	奥島
2 E	重松 清子	藤野
2 E	瀬戸美奈子	倉八
3 C	細川 晴代	島田
3 E	篠崎加代子	尾崎
4 E	稲葉 芳子	井口
4 E	菓子田道子	
5 E	山村美佐子	平松
5 E	西村 晶子	西村
6 C	坂井 陽子	安達
6 C	福原七穂子	福田
7 C	山岡 博子	村木
7 E	渡辺美登利	岩田
8 C	五由出千春	五由出
8 E	前田百合子	白石
9 C	安達 都子	林屋
9 E	倉田 恵子	辻井
10 E	西川 啓子	伊藤
10 E	西尾 年代	山川
11 C	松田 佳織	西澤
11 E	滝口 壽子	高橋
12 C	北澤みよ子	山田
12 E	中井 恭子	塚本
13 E	前田 裕子	勝馬
13 E	中田由利子	小谷
14 C	鈴庄 香	出口
14 E	谷口 圭子	小山
15 C	溝渕 訓子	川田
15 E	石部 和代	山田
16 E	多羅 晶子	増田
16 E	若森 美加	山口
17 C	片岡 温子	吉田

会員番号	氏名	旧姓
17 E	松岡 洋子	松岡
17 E	阪田 眞琴	阪田
18 C	萩原 道子	田中
18 E	荒井友紀子	伊藤
19 C	安達 美保	
19 E	宮澤 紀恵	小林
20 C	柴田 宏美	谷畑
20 E	朝隈 諄子	若山
21 C	久富木深雪	島崎
21 C	田中 宣子	谷口
21 E	森澤 祥子	梶田
21 E	岸本 明子	
22 E	山田三起子	林
22 E	田中 幸子	
23 C	本波 佳由	坂田
23 E	中島 千明	
24 C	久世 直子	
24 C	中野 恵美	前野
24 E	毛利なおみ	百々
25 C	杉本 奈美	
25 E	一色 裕美	
25 E	富田 有香	
26 C	猪飼 喜代	大日
26 E	樋口 純子	石橋
26 E	辻 展子	小谷
27 C	小林 麻里	
27 E	中井 祐里	芦田
27 E	高嶋佳代子	
28 C	西村 和香	
28 C	戸田早映子	
28 E	木下智香子	中川
28 E	近藤 尉江	山中
29 C	入江まどか	西垣

会員番号	氏名	旧姓
29 E	西浦 広子	
29 E	葭田 奏子	
30 C	阪原 万里	
30 C	内田 真理	
30 E	水原 有美	
30 E	西田 直子	
31 C	景山 由貴	
31 E	森口 明美	
31 E	谷 昭美	
32 C	伊東 香織	
32 C	長谷川真矢	大角
32 E	浅田 依恵	
32 E	鳥本 光	谷口
33 C	上山菜穂子	
33 E	本田 智子	
33 E	谷 真由美	
34 C	小山 道子	片岡
34 C	高田 眞紀	森川
34 E	成徳 睦子	
34 E	谷口明日香	
35 C	中 かおり	
35 C	高岡 裕子	
36 C	二保 友美	
36 C	野瀬まり子	
36 E	望月裕美子	
36 E	中村 由佳	
37 C	田附みさと	
37 C	植田 哉恵	
37 E	佐々木麻衣	
37 E	寺地 祐子	
38 C	辻 香菜子	
38 C	武田 安子	
38 E	稲田智彌子	
38 E	小木麻里子	

☆交代のある場合はマリアンハウスまで御連絡下さい。

マリアンハウスオープンデー!!10月23日(木)

同窓会では恒例のマリアンハウスオープンデーを10月23日(木)に開催いたします。

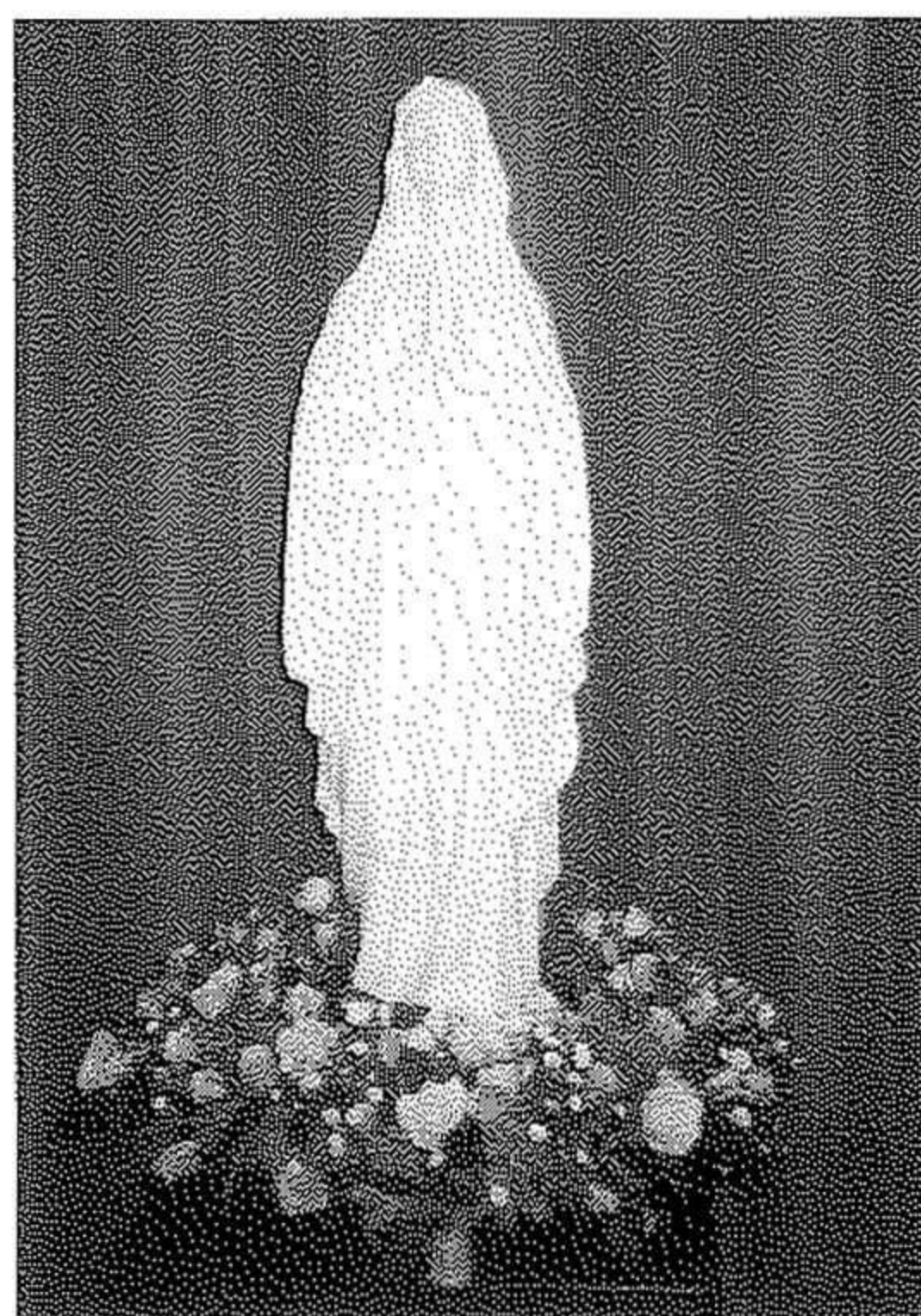
年々参加者も多くなり、なつかしい友人達との再会もあったりと、楽しく、賑やかな1日になっています。今年はカフェテラスでのティータイム、館内では手作りケーキ、手芸品、寄贈品の販売等、もり沢山の企画でご来場をお待ちしています。なお、この日の売り上げ金は、インド、ネパールの子供達に役立てていただいております。皆様からの寄贈品を心よりお待ちしております。



マリアンハウスでは昨年で満10年を迎えることが出来、これを記念していくつかの嬉しいニュースがあります。

まず一つは大学より美しいルルドの聖母マリア像を寄贈していただきました。マリアンハウスの扉を開くとその正面にあたたくやさしい眼差しのマリア様が目に入ります。次に一階ホールには十字架が掛けられ、ピアノも備えられました。大学から譲っていただいたもので、すでにコーラスサークルの方に利用していただいています。もう一つは会館に屋外用のみどり色のロゴ入りテントが購入され、昨年10月のオープンデーには早速駐車場に設営しグリーンの販売所として利用されました。昨年12月4日には10周年式典が開かれ、マリアンハウス設立に深く関わってくださっ

マリアンハウス報告



た方々、現学長、副学長、理事長をお招きすることができました。田中健一司教様によるマリア像祝別式の後、感謝の昼食会が開かれ、その席で設立にあたって当時の学長、シスター・マイケル田代、同窓会顧問シスターセリン松本、一期生、同窓会役員の方々の並々ならぬ御苦労と御努力があったことをお聞きし、改めて今、会館を利用出来る喜びと感謝の念で、一杯になりました。

11年目に入るマリアンハウスをこれからますます多くの方に利用していただけるよう心より願っています。





マリア像祝別式
田中 健一 名誉司教様



“オープンデー”
絵ハガキあり!手芸作品あり!

日文研へのお誘い

今年度も色々なプログラムを用意しております。詳しくはp16を参照



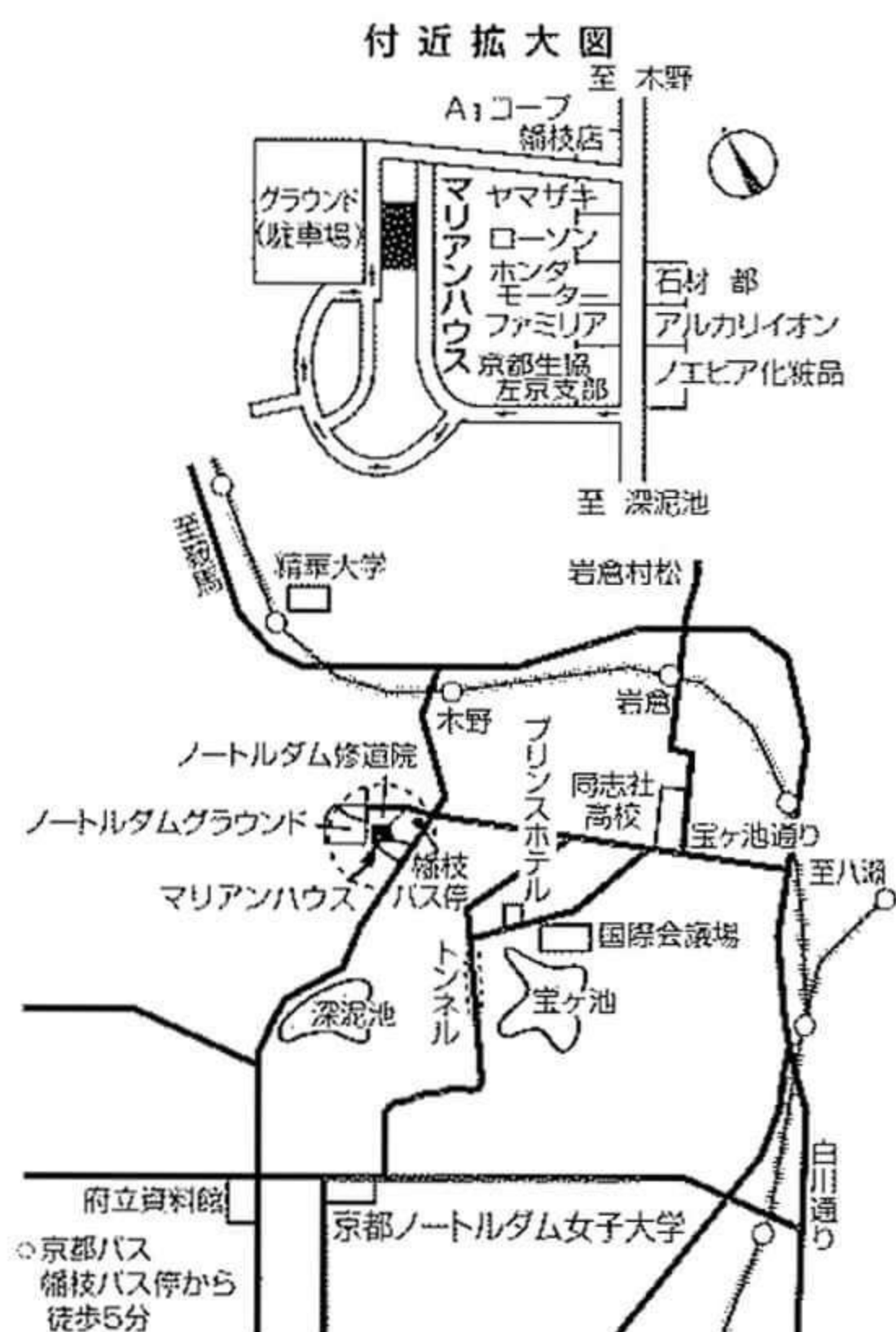
1月は狂言を観賞



10周年記念パーティー
Sr.セリーンよりごあいさつ

編集後記

皆様のご協力のお蔭を持ちまして本年もマリアンを発行する事が出来ました。ありがとうございました。
広報 大塚・片桐



マリアンハウス

所在地	〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628 TEL.FAX 共 075-701-9149
開館曜日・時間	月・水・金 10:00~15:00 (但し、上記以外でも相談の上、使用可)
年間休館日	●春休み 3/20~4/10 ●夏休み 8/10~8/20 ●冬休み 12/20~1/10
会館使用料	1F ホール 3,000円 2F ●和室(8畳) 1,500円 ●和室(6畳) 1,500円 ●洋室(6畳) 1,500円 使用時間: 10:00~15:00 冷暖房、台所使用可
宿泊	1泊1人2,500円(2名より10名迄) チェックイン: 15:00~17:00 チェックアウト: 10:00迄 キャンセル: 5日前までに以後は50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可

>>>>>>> アクティビティー案内 <<<<<<<<

マリアンハウスプログラム

月 日	時 間	内 容
H15 6月	10:30~12:30	ガーデニング “寄せ植え” 講師:前元先生
7月 4日(金)	10:30~12:30	講演 “家族、心の絆” 講師:熊沢ヒロミ先生
9月 12日(金)	10:30~12:30	講師:スパルディング陽子(2E) フラダンス
10月 23日(木)	10:30~14:00	マリアンハウス オープンデー 全館
11月	10:30~12:30	クラフト 講師:森本純子先生
12月	10:30~12:30	フラワーアレンジメント 講師:八木和美先生
H16 3月	10:30~12:30	ケーキ作り 講師:西村玲子先生
4月	10:30~12:30	おばんざいを作る 講師:斎藤笙子先生

※8月、1月、2月は休み

クラス	講 師	内 容	場所・日時	責 任 者
英文雑誌 の 講 読	シスター セリン松本	やさしい英文誌からTIME誌まで 様々な話題をとりあげます (日本語)	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月23日より開始	山根有香子 (17E) 宮澤 紀恵 (19E)
英 会 話	シスター モリーン	能力に関係なく楽しめる英会話 です	ユニソン会館3階 第2・第4月曜日 10:30~12:00 5月12日より開始	熊谷 紀子 (19E) 吉田喜代子 (21E)
書 道	寺田九絲	漢字は三體 (さんたい) 千字文、 かなは梅雪かな帖等をおけいこし ます	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30~12:00 5月21日より開始	稲本美也子 (18E)
フランス語 (Ⅱ)	阿部哲三	ユルスナールの“東方物語”の一 篇を読んでいます	ユニソン会館3階 第1・第3火曜日 10:30~12:00 5月20日より開始	中川 淑子 (8E)
フランス語 (Ⅰ)	相良憲昭	初級テキストを中心に、フランス 語や文化・歴史を学んでいます	ユニソン会館3階 第1・第3金曜日 10:30~12:00 5月16日より開始	片桐 比佐 (3E) 前長 真弓 (29E)
聖 書	シスター セリン松本	より豊かに生きるために聖書を日 常生活と関連づけて読みます	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00 5月23日より開始	永根 洋子 (2E)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ体操を含めた発声から 始まり聖歌等いろいろな曲を歌い ます	ユニソン会館B1 音楽練習室 毎月第3木曜日 10:00~12:00	丸山ヒデ子 (4E) 稲葉 芳子 (4E)
手芸ボランティア		手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せ 下さい	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00 5月23日より開始	岡 和 (4E)
聖書クラス (中部支部)	シスター セリン松本	聖書で読んだ箇所の各人の感想 とシスターの解説	愛知県中小企業センター (052-561-4121) 名古屋駅前徒歩5分 第2金曜日 10:30~12:00 祭日は休講	加藤真理子 (2E)

※各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)又は2,500円(5回/学期)。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。

日 本 文 化 研 究 会 第3月曜日	2003. 6. 16. (月) 西陣織会館、織成館【京都】 9. 16. (火) 白沙村荘、橋本閑雪記念館【京都】 10. 20. (月) 天竜寺、松巖寺【京都】 11. 17. (月) 栗生の光明寺、錦水亭【長岡京市】 2004. 1月未定 新年会 2. 16. (月) 蓮光寺、お茶会【京都】 3. 15. (月) 桂離宮【京都】 4. 19. (月) 万博公園、国立民族博物館【大阪】	澤田美保子 (18E) 吉田喜代子 (21E) FAX連絡先 マリアンハウス (075) 701-9149